



夏休み中の子どもの過ごし方／
子ども基本法の趣旨の実現等
吉本ゆうすけ議員
(フォーラム小平)



災害級の暑さが続く夏休み
期間中の子どもの過ごし方について

質問 ①市立小・中学校に対し、子どもたちの日中の過ごし方について統一した見解を出したか。

②来年に向けた日中の子どもたちの居場所づくりについて、市と教育委員会の見解は。

教育長 ①夏季休業中の生活指導等について各学校に通知し、各学校からは家庭にお便りを配付するなど周知している。

市長 ②地域センターなどを、日中猛暑時の一時的な避難場所として利用できることをホームページ等で周知していく。



市民が親しめる東部エリアとは
武蔵公園にトイレの設置を
比留間洋一議員
(政和会)



市民が親しめる東部エリアとは

質問 ①花小金井武蔵館閉鎖後、東部エリアの運動施設は充足しているか。

②萩山公園現プール用地内の有効活用について市の考えは。

市長 ①花小金井南中学校地域開放型体育館の整備に伴い、同武道館の機能移転は完了し、代替施設を整備する考えはない。

また、学校施設のスポーツ開放で一定のニーズを充足している。

場の適切な開放方法を研究していく。公民館では夏休み学習室の設置等をしている。図書館ではおはなし会などを開催した。

子ども基本法の趣旨の実現と小平市の取組を問う

質問 ①子ども計画の策定は。

市長 ①子ども大綱が、5年度国から示されたら、子ども・若者計画の前倒しでの見直しと併せた子ども計画への改定について検討していく。

②現行の枠組みにとどまらない、地域の機関等で構成する会議体の設置等を検討していく。



安心して暮らすための生活保護／
市の経営方針について
さとう悦子議員
(生活者ネットワーク)



安心して暮らすための生活保護の権利である生活保護について

質問 ①冷暖房機器の購入、設置費用の支給要件は。

②持家で暮らしながら受給する場合の条件と方法は。

③医療扶助のオンライン資格確認導入について進捗は。

市長 ①保護の開始時等に高齢者等が所有していない場合、基準内の費用を支給している。

②原則として保有が認められるが、資産価値が著しく高い場合に認められないこともある。



健康保険証は存続を、
マイナンバーカードについて問う
鈴木だいち議員
(日本共産党小平市議団)



健康保険証は存続を、マイナンバーカードについて問う

質問 ①マイナンバーカード推進のために現在までに市として予算化し支出してきた合計額は。

②マイナ保険証への別人情報のひもづけなど、マイナンバーカードのトラブルの発生状況は。

市長 ①市が管理する都市公園であるため、地域住民の意見等を踏まえ、市で総合的に判断して設置するかを決定している。

②開園して間もない状況であるため、現在、トイレを設置する計画はない。将来的に公園の位置づけや周辺環境の変化等が生じた場合には、改めて課題を整理しながら必要に応じて公園の再整備について検討していく。



起業と働く場の創出へ/
学びを支える学校図書館のために
外山まなみ議員
(政和会)



小平発の起業と働く場の創出のために

質問 ①開業ワンストップセンターを開設すべきか見解は。

②市立小・中学校で、身近な課題の解決提案を行う(仮称)

③同プログラムの「事業の精査と見直し」の評価と課題は。

市長 ①市民ワークショップ等で、市を取り巻く変化を見据えた行政運営の在り方を検討した。

②最小の経費で最大の効果を生み出すという考えで設定した。



スポーツのまち小平による
活性化/救急車適正利用の啓発
鈴木洋一議員
(政和会)



スポーツのまち小平による地域活性化に向けて

質問 ①5年度より市立小・中学校体育館にエアコンが設置されるが進捗状況は。

②中央公園グラウンドの人工芝化の要望に対する検討状況は。

教育長 ①中学校は6月中旬に工事が完了し、7月1日から全校で使用を開始している。小学校は全校で工事請負契約を締結し、順次工事に着手している。

市長 ②8月に中央公園グラウンド改修の検討資料作成等支援業務委託を契約締結し、現在グラウンドの現状把握や利用団体等へのヒアリングを行っている。



安心して暮らし続けるための
介護について
柴尾ひろみ議員
(生活者ネットワーク)



安心して暮らし続けるための介護について

質問 ①地域包括支援センターの機能強化と周知の状況は。

②ケアラーへの具体的支援は。

③在宅医療と介護の連携は。

④第9期介護保険制度改正における利用者への影響は。

⑤ヘルパー不足への取組は。



安心して暮らし続けるための介護について

質問 ①救急隊員から通報者へ救命率向上に向けた救急車適正利用の啓発について

質問 ①救急隊員から通報者への口頭指導Live119の認識は。

②救急車適正利用を促す市の施策は。

市長 ①通報者がスマートフォンから現場映像を送信でき、救急隊員はリアルタイムで応急手当の方法を指導できる。救命率向上に寄与すると認識している。

②引き続き、救急車逼迫アラートが発表された際は、防災・防犯緊急メールマガジンで注意喚起を行うとともに、今後も小平消防署と連携し、救急車の適正利用の周知啓発に努めていく。



家族介護教室の様子(令和5年10月5日 中央公民館)

